



Carbon Trust / Class NK 共催

洋上風力 Webinar のご案内

「洋上風況観測及び浮体式ライダーの技術」

開催日時：2021 年 7 月 27 日（火曜日）16:00～17:05

本年 4 月に官民協議会から発表された「洋上風力の産業競争力強化に向けた技術開発ロードマップ」に続き、6 月には、産業構造審議会 グリーンイノベーションプロジェクト部会 グリーン電力の普及促進分野ワーキンググループから、「洋上風力発電の低コスト化」プロジェクトに関する 研究開発・社会実装計画（案）」も提示され、日本の洋上風力発電も官民を挙げて導入促進が進められています。

カーボントラストは、英国での洋上風力発電の商業化に至るまでのプロセスで先駆的役割を果たしてきた経験を活かし、日本の洋上風力発電の導入促進においても、日本海事協会と協働して、研究・技術開発の各分野での支援と情報提供に努めております。

今回のカーボントラストと日本海事協会による共催ウェビナーでは、調査開発項目の主要分野である風況観測に関して以下の項目についてご説明いたします。

- 洋上風力資源評価方法の基本
- 浮体式ライダーを中心に洋上風力資源評価に使用されている主要技術
- 風況観測キャンペーンの設計方法と、不確実性を可能な限り低減する方法
- 世界各地の風況観測キャンペーンの事例

<日時> 2021 年 7 月 27 日（火曜日）16:00-17:05

<形式> ZOOM による日本語・英語の 2 チャンネルでの同時通訳

<プログラム>

- 開会挨拶（10 分） 日本海事協会 調査開発センター長 平田純一
- イントロダクション（10 分） カーボントラスト フェイジー・フリーマントル
- 洋上風況観測及び浮体式ライダーの技術（30 分）カーボントラスト ニール・アダムス
- 質疑応答（15 分） 進行役：ClassNK コンサルティングサービス 今村博
カーボントラスト メーガン・スミス

参加費は無料です。参加ご希望の方は、下記リンクより **7 月 26 日まで**にお申し込みください。

参加申し込み: https://zoom.us/webinar/register/WN_5Rd8bUrvSxqEe_mFp1zACw

ご多忙の折とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

＜登壇者略歴＞ 登壇順

平田 純一；財団法人日本海事協会、調査開発センター長兼交通物流部長、横浜国立大学工学部船舶・海洋工学科卒業、昭和 60 年 運輸省入省、平成 3 年 国際原子力機関原子力安全局放射性安全輸送ユニット技術専門家、平成 7 年 在シンガポール日本国大使館一等書記官、平成 14 年 国土交通省総合政策局環境・海洋課地球環境対策企画官、平成 19 年財団法人日本海事協会入会、平成 27 年 4 月 研究開発推進部長、令和 2 年 4 月 調査開発部長兼陸上交通物流部長、令和 3 年 4 月 現職（その他公務）一般社団法人温室効果ガス審査協会（GAJ）代表理事・会長、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）審査委員、公益財団法人日本船舶海洋工学会代議員

フェイジー・フリーマントル（Faizi Freemantle）；カーボントラスト Senior Associate、2019 年 1 月の入社以来、洋上風力発電に関するコンサルティングプロジェクトで、主に日本やその他のアジア市場に焦点を当て、公的機関への技術・政策アドバイスの提供等に携わる。カーボントラストに入社する前は、日本で国内の太陽光発電プロジェクトの建設管理に関わる。インペリアル・カレッジ・ロンドンで物理学の学位を取得した後、京都大学でエネルギー科学の修士号を取得。エネルギー政策を研究。

ニール・アダムズ（Neil Adams）；カーボントラスト Manager、機械エンジニア。2013 年に Gwynty Mor ファームサイトで行われた OWA 初の浮体式 LIDAR 試験を管理し、データ処理を主導。また、Rødsand II における OWA のウェーク効果測定キャンペーンのスコーピング、監督、全データの処理を担当し、複数のスキャニング LIDAR、ナセルマウント LIDAR、および従来の測定システムの海上配置に従事。北海の洋上風力発電所の固定プラットフォーム上のプロファイリング LIDAR データに CFD 補正適用にも関わっています。風力資源キャンペーンの設計、収量予測、不確実性の低減に関するアドバイスを提供。

メーガン・スミス（Megan Smith）；カーボントラスト Associate Director、洋上風力発電アドバイザー・チーム長。インペリアル・カレッジ・ロンドンとブリストル大学で数学の学位を取得した流体力学の専門家で、2013 年にカーボントラストに入社する前は、Ofgem のシニア・ポリシー・アナリストとして英国の洋上風力発電の送電制度の開発に携わる。カーボントラストに入社してからは、オフショア・ウィンド・アクセラレーター(OWA)の一環で数々の研究開発プログラムを主導。

今村 博；株式会社 Class NK コンサルティングサービス（株式会社ウインドエナジーコンサルティング・代表取締役）名古屋大学大学院工学研究科博士課程後期課程修了、博士（工学）。NEDO 産業技術研究員として大型風力発電システム開発研究に従事、横浜国立大学工学部生産工学科助手、名古屋大学大学院工学研究科講師、株式会社風力エネルギー研究所代表取締役などを歴任する。2019 年 8 月にウインドエナジーコンサルティングを設立する。2020 年 6 月より Class NK コンサルティングサービス風力グループリーダーを兼務。専門は流体力学、風車工学。日本風力エネルギー学会副会長。NEDO プロ等、研究開発事業に多数参加。

<カーボントラストと日本海事協会について>

カーボントラスト (Carbon Trust) : <https://www.carbontrust.com/what-we-do> は持続可能な低炭素社会への移行を加速させることをミッションに英国政府によって設立されたシンクタンクかつ環境面でのコンサルタント組織。洋上風力発電においては、先駆的な役割を果たしており、政府、デベロッパー、サプライチェーン、技術開発者と緊密に連携して、政策提言、技術開発支援を行うとともにコスト低減の可能性を特定しその為の開発プログラムを実施しています。日本においても政府関係機関を含む複数のお客様を支援しています。

一般財団法人 日本海事協会(ClassNK): <https://www.classnk.or.jp/hp/ja/index.html> は、船舶を始めとした交通物流を中心として、検査や認証を提供する第三者機関、国際船級協会として世界的な活動を展開しています。低炭素・CO₂ 削減に向けた取組としては、燃費消費実績報告制度に関する欧州規則 (EU MRV 規則) に基づいた監視計画書及び排出報告書の検証、再生可能エネルギーに関する認証と第三者検証サービス、ISO 国際規格に基づいて温室効果ガスの認証業務を提供しています。近年、風力発電関連の認証機関として、ウインドファーム認証や洋上ウインドファームの建設工事の検査など、風力関連の認証・検査サービスを拡充しており、第三者の立場で洋上ウインドファームの安全と安定操業の一旦を担い、その普及を目指しています。